米の需給調整への市のかかわり

農業者等と一体となって進める

平賀 守 議員
（明和会）

Q 米の需給調整については、平成19年産からは、農業者・農業者団体が国・都道府県等から提供される需給に関する情報や市場のシグナルを基に、自らの販売戦略に即して、生産を実行していくシステムに移行することとなるが、これに対する市のかかわりについて伺う。

A（市長） 新たな需給調整システムにおいて、生産数量目標を定める花巻地方水田農業推進協議会の構成員には、市を含む関係行政機関が入っており、農業者・農業団体の主体的役割が極めて重要なのは変わりないが、引き続き市及び関係機関と一体となって需給調整を進めていくものである。

バイオ燃料の利用

Q 転作田の荒廃化、耕作放棄地が増加傾向にある中、農地保全とともに転作手法の新たな取り組みとしてバイオ燃料の利用拡大についての考えを伺う。

A 国のバイオ燃料の計画の動向も見極めながら、研究機関等と連携し、水田の有効活用とエタノールを組み合わせた方策に挑戦していきたいと考える。

米からのエタノールの製造試験（奥州市での研究）

現在の地区公民館は、本年4月から「振興センター」になります（写真は大瀬川公民館）

地区公民館に対する認識

社会教育機関として大きな役割

櫻井 肇 議員
（無会派）

Q 地域の大事な存在である地区公民館の役割をどう認識しているか伺う。また、地区公民館の廃止についての住民への説明は十分であると考えるか見解を伺う。

A（市長） 地区公民館は、地域における社会教育機関として、大きな役割を果たしてきたと認識している。これまでの公民館活動をより充実した内容の「小さな市役所構想」を、あらゆる機会を通して住民に説明してきたところである。

いじめの根本原因

Q 児童・生徒のいじめ、虐待の隠ぺいが全国的に取りざたされているが、本市においてその事実はないか伺う。

また、いじめの根本原因に対する市教育委員会の見解も併せて伺う。

A（教育長） 教育委員会も通報の義務を負っており、事実を隠ぺいするような対応は許されないことを認識している。

いじめの原因には、さまざまな原因が言われているが、何らかの相手に対する差別感情が存在し、情緒の発達段階や良好な人間関係を維持する能力等が未成熟な状況にあることが考えられる。

住民参加による市道の整備

小さな市役所構想で実施を検討

名須川 晋 議員
（花巻クラブ）

Q 市道以外の生活道路を対象とした「地域道づくり支援事業（※）」は、住民の結の精神の発揮によって、市民生活の向上につながっている。一方で、受益の対象者が少ない市道は、整備の見通しがまったく立たないため、対象を市道にも拡大する考えはないか伺う。

A（建設部長） 市道認定道路を「地域道づくり支援事業」の対象にするには、道路法による管理等をどうするか、将来の維持管理を含めたトータルコストはどうか、どのレベルまでの市道を対象にするかなどの課題があり、これらを整理しながら「小さな市役所構想」の中での事業実施を念頭に検討を重ねている。

学区再編の取り組み

Q 小中学校の適正配置や学区の再編等、各種課題の解決のため設置した小中学校学区再編成等調査事業について伺う。

A（教育長） 意見を伺うための検討委員を委嘱し、11月29日に第1回検討委員会を開催した。平成19年度内を目途に現地調査も実施し、さまざまな角度から検討をお願いし、できるものから順次実施していく。

「地域道づくり支援事業」を活用して整備された生活道路（太田地内）

※「地域道づくり支援事業」＝市道認定以外の利用度の高い生活道路を、地元関係者がその労力提供で舗装・改修などの整備をする場合に、市が予算の範囲内で原材料や重機などの機材の借り上げ料を支給する支援事業。

国指定天然記念物「花輪堤（はなわつつみ）ハナショウブ群落」

「ハナショウブ群落」の管理

地域住民と周辺環境整備を検討

高橋 淑郎 議員
（花巻クラブ）

Q 西宮野目地区の国指定天然記念物「花輪堤（はなわつつみ）ハナショウブ群落」は、指定を受けてから70年以上の歴史がある。地域の方々が、草刈りなどの環境整備に努めているものの、花の数も年々少なくなり、景観は、周囲の木々が生い茂り、ハナショウブの減少にもつながっているようである。

また、立ち入り禁止規制もあることから、せっかくの資源が訪れる人の目に触れることがないといった状況である。

今後の管理と保護についての市の見解を伺う。

A（教育長） 国指定天然記念物「花輪堤ハナショウブ群落」は、貴重な文化財であると認識しており、増殖については、公園の中に展示ほ場を設け、種子や株分けなどの手法で試みている。

立ち入り禁止については、文化庁の指導もあり、ハナショウブを含む湿地帯一体の保護のためにやむを得ない措置と認識している。

ハナショウブを花巻市の貴重な観光資源として、開花の時期には鑑賞できるように、地域住民の方々とも相談しながら周辺環境の整備について検討していく。